



實性

平成三十一年 第二号 春彼岸発行

春のお彼岸のご案内

お彼岸の由来

春のお彼岸は、春分の日（お中日）ちゅうにちを中心とした一週間をさしますが、そもそもお彼岸とは「彼の岸」かきすなわち極楽浄土を意味します。それ相對する「此の岸」ここのきは、すなわち私達の世界です。「彼の岸」の極楽浄土は西方にあつて、「お日さま」が真西を正しく示す「春分の日」「秋分の日」がこれにあたります。

かんむりようじせきせう「観無量寿經」というお経には、「日想觀」にっそうかんといつて、夕陽の先に極楽浄土を思い浮かべる仏道修行のひとつが説かれています。この最も適した日が「お日さま」が真西に沈み、極楽浄土のありかを示す、春分秋分の日こそが修行の好機でもあります。

私共は、日常の生活、仕事に追われ、自分自身を見つめたり、極楽浄土が叶うか不安になったり、ご先祖や亡くなられた方への想いを忘れることもあるでしょう。

そんな私達にとって「お彼岸」とは、往生浄土を願うとともに、亡き人への真心を捧げることのできる大切な機会です。回向と感謝の一週間、手を合わせたいものです。

彼岸会法要

● 三月二十一日（木・祝日） お中日

午前十一時より

参加費（お布施） 五千元

お彼岸入り 三月 十八日（月）

お彼岸中日 三月二十一日（木・祝日）

お彼岸明け 三月二十四日（日）

皆様お揃いで是非ご参加下さい。



法然上人涅槃図

一月二十五日は宗祖法然上人の御命日です。各総本山では四月に忌日法要厳修されます。この法要を「御忌」と読みます。左図の「法然上人涅槃図」は、法然上人の入滅の時が描かれています。

大勢の弟子にかこまれ、合掌なされ、「南無阿弥陀仏」のお念仏を弟子と共に唱えられながら念仏往生なされました。



法然上人涅槃図

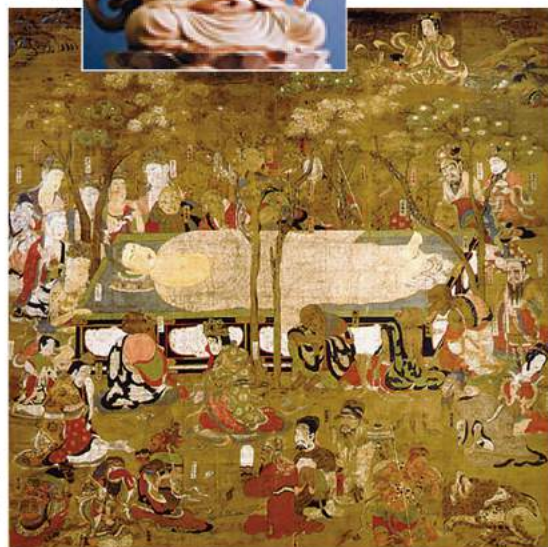
涅槃会

二月十五日は、お釈迦様の亡くなられたご命日です。左図の涅槃図は、お釈迦様の入滅の様子を描かれています。お釈迦様は、伝導の旅の途中、病にたおられ、死期を悟られ、沐浴をされ、沙羅双樹の林の中に横たわれ、最後の説法をなされました。

頭を北に、顔を西に向け、十大弟子、老若男女、鳥獣たちさえも嘆き悲しむ様子、また、切利天より駆けつけられたお釈迦様の母君、マヤ夫人の姿も描かれています。



お釈迦様



釈迦涅槃図

修正会報告

年の初めの最初の法要「修正会」しゆしやうえが例年の通り一月三日に厳修されました。

国家安泰・日月照明・家内安全・無病息災・心願成就・先祖代々等をお祈り申し上げ、皆様と共に勤めをいたしました。絵馬にはそれぞれの願いをお書きいただき、奉納いたしました。

清宴（新年会）では、筆頭総代・遠山長昭殿の御挨拶、衆議院議員・鴨下一郎先生に新年のご挨拶をいただき、総代・鈴木雅之殿の乾杯のご発声、柳家我太楼師匠の司会進行のもとビンゴゲームでお楽しみいただきました。

来年度の修正会も多数の皆様のご参加をお待ちしております。



柳家我太楼師匠



節分会

二月三日は節分会です。神社寺院によりいろいろな呼び方があります。「追儺」「鬼やらい」「せちぶん」と呼ぶところもあるようです。

節分会は、中国の習俗が伝わってきたものとされています。京都・鞍馬に鬼が出たとき、毘沙門天のお告げによって、大豆を鬼の目に投げたところ鬼退治が出来たという話が残っています。



松本はつ様

お手作りの粘土細工です
どう見ても本物みたいですね!!



総本山紹介

知恩院

ちおんいん

住所・京都市東山区林下町
交通・市バス知恩院前下車十二分
地下鉄東西線東山駅下車十五分

正しくは、華頂山知恩教院大谷寺。この地は、法然上人が念

かちようざん ちおんきやういんおほたにじ

仏教化の拠点とした地であり、入寂された零蹟でもあります。

承安五年（一一七五）、法然上人は浄土宗を開き、初め西

山広谷に室をかまえ、のち東山吉水の地に移り、専修念仏の
布教に務められました。「建永の法難」で讃岐に配流された後、

保免されて京に戻りましたが、吉水の房舎は荒れ果ててし

けんえい

まったため、慈円が大谷の南禅院を法然上人に付属しました。

これが大谷の禅房で、現在の勢至堂のある場所です。

江戸時代、満譽の代に、徳川家康の命で知恩院山内に華頂

宮門跡が設置されました。現在の大伽藍は、寛永十年（一六

三三）の炎上の後、三十二世靈願の代に徳川家光の寄進によつ

て再建された御影堂を中心に整備されたものです。

現在の知恩院の面積は約七万三千坪という広大なもので、

国宝に指定されている三門は、高さ約二十四メートル、間口
二十七メートルで、木造では世界最大の楼門といわれています。

法然上人の御影像をまつた御影堂（大殿）も国宝に制
定されています。御影堂の横を上がっていくと勢至堂がりま

すが、その脇には上人の遺骸が埋葬
された廟堂が建っています。御影堂
から勢至堂、廟堂へと上がる石段は
百八段で、念仏を称えながら昇れば
煩惱が消滅するといわれています。



山門



御影堂



勢至堂

京都 CHION-IN

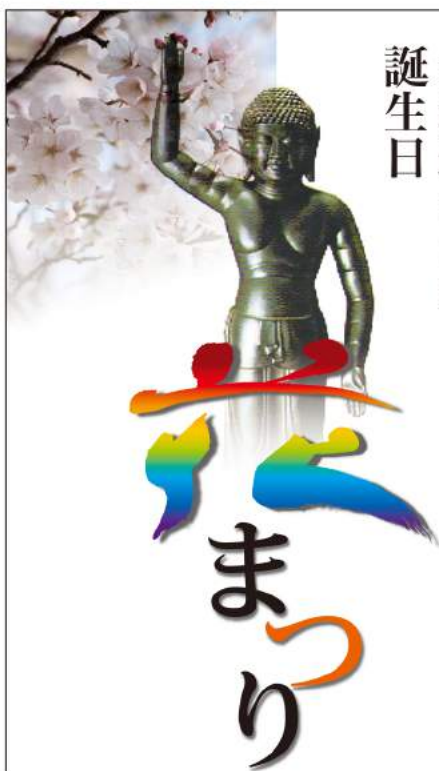
花まつり

四月八日(月)は、お釈迦様がお生まれになられた誕生日です。「灌仏会」といいます。お釈迦様の誕生をお祝いし、誕生仏に甘茶をかけお祝いいたしますしませう。

お彼岸より本堂前(御拝)に花見堂が出ております。どうぞお参り下さい。

(お参りいただいた方に甘茶ティーパックを差し上げています)

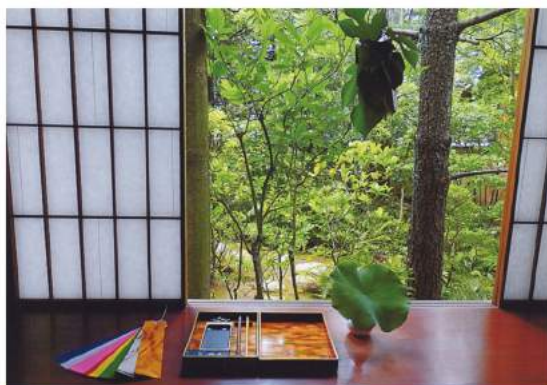
四月八日は
お釈迦さまの
誕生日



本格茶室にて

茶道を学んでみませんか、指導は表千家門家元直門、ご入会は随時受付ており、見学も歓迎です。

お茶室



茶室路地を借景にした書院での飾り



客殿床の間飾り



茶室床飾り

今年も境内に紅白の梅や水仙が咲き始めました。これからの季節多くの花が咲きますのでご覧下さい。

境内の
花



白梅



赤梅



水仙

☆ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前迄にお申し込み下さい。お電話よりファックスの方が正確です。ご利用下さい。

ファックス番号 03(3883)3227

振替口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七-十八
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jisyoji.com>

